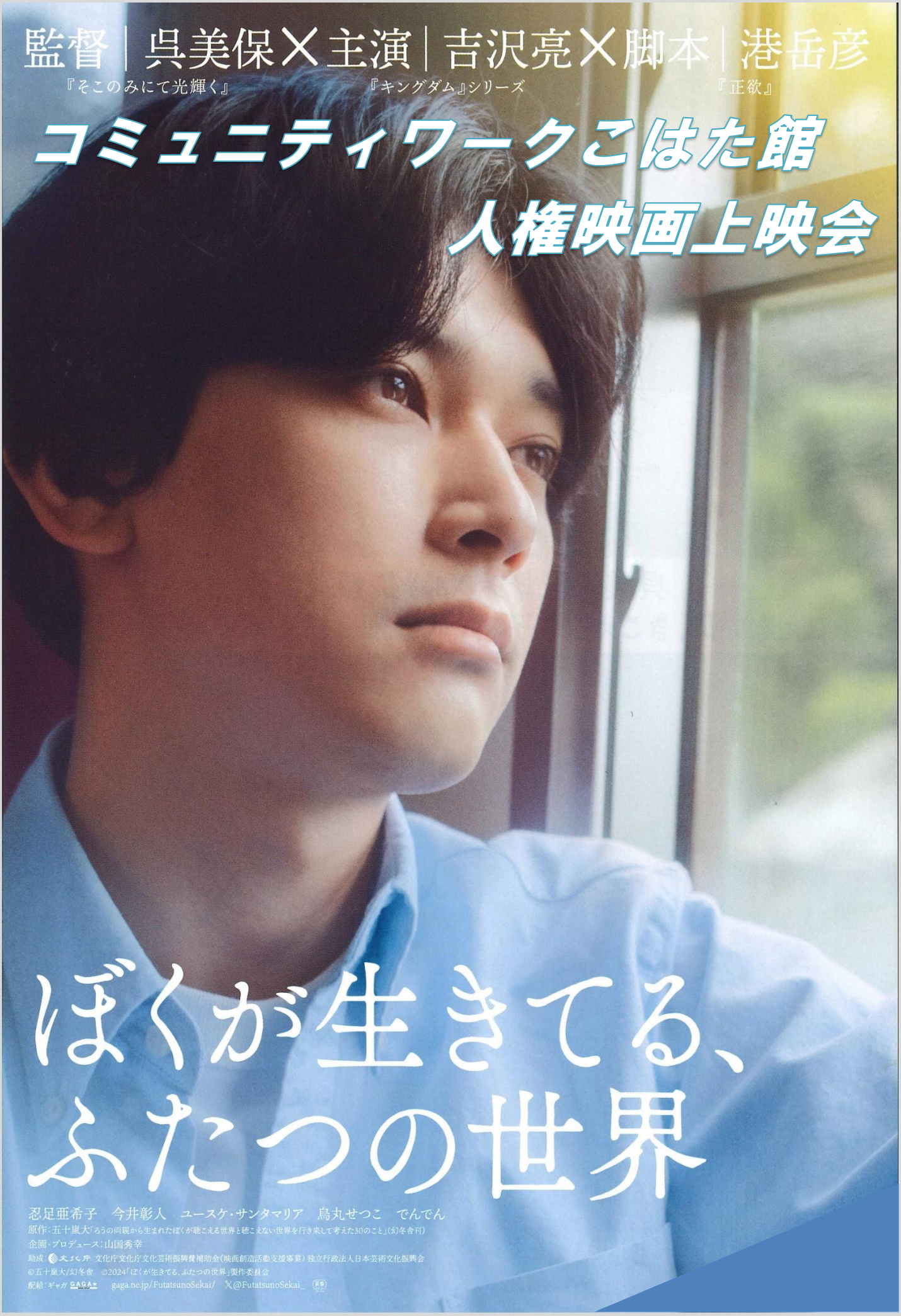

監督｜呉美保×主演｜吉沢亮×脚本｜港岳彦
『そこのみにて光輝く』
『キングダム』シリーズ
『正欲』
コミュニティワークこはた館
人権映画上映会
ぼくが生きてる、
ふたつの世界
忍足亜希子　今井彰人　ユースケ・サンタマリア　烏丸せつこ　でんでん
原作：五十嵐大「ろうの両親から生まれたぼくが聴こえる世界と聴こえない世界を行き来して考えた30のこと」(幻冬舎刊)
企画・プロデュース：山田秀幸
助成：文化庁 文化庁文化芸術振興費補助金(映画創造活動支援事業) 独立行政法人日本芸術文化振興会
©五十嵐大/幻冬舎　©2024「ぼくが生きてる、ふたつの世界」製作委員会
配給：ギャガ GAGA
gaga.ne.jp/FutatsunoSekai/　𝕏@FutatsunoSekai_

「人権の大切さ」について身近に考えていただくことを目的として人権映画上映会を開催します。今回は親子の物語、そしてひとりの「CODA※」の心の軌跡を描く**「ぼくが生きてる、ふたつの世界」**を上映します。

※Children of Deaf Adults の略。聴覚に障害のある親のもとに生まれた、耳が聞こえる子ども。



(C)五十嵐大／幻冬舎 (C)2024「ぼくが生きてる、ふたつの世界」製作委員会

【あらすじ】

宮城県の小さな港町、五十嵐家に男の子が生まれた。祖父母、両親は、“大”と名付けて誕生を喜ぶ。ほかの家庭と少しだけ違っていたのは、両親の耳がきこえないこと。幼い大にとっては、大好きな母の“通訳”をすることも“ふつう”の楽しい日常だった。

しかし次第に、周りから特別視されることに戸惑い、苛立ち、母の明るささえ疎ましくなる。心を持て余したまま 20 歳になり、逃げるように東京へ旅立つ大だったが・・・。

開　催　要　項

【日　時】 **2026 年 12 月 17 日（木）**
午後 2 時～4 時頃（午後 1 時半　開場）

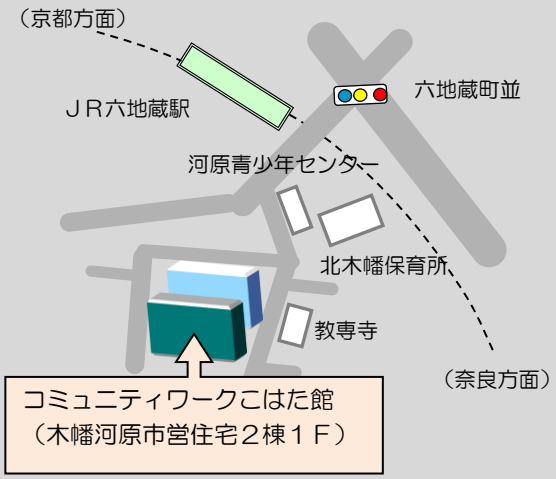
【会　場】 コミュニティワークこはた館

【定　員】 60 名

【入場料】 無料（整理券が必要）

【整理券】 **11 月 16 日（月）午前 9 時**から**1 人 2 枚まで**
会場にて整理券を配布します。

宇治市木幡河原 3－12
℡ 0774－39－9199



※車での来場はご遠慮ください。